

ネイチャー ニュース 2023年
Nature News vol.4
南三陸少年少女自然調査隊



【スノーケリング海中観察&海藻おしぼづくり with おおさき生きものクラブ】

日時：令和5年8月26日（土）
場所：サンオーレそではま
スタッフ：南三陸海のビジターセンター
おきなくらEELs
南三陸ネイチャーセンター友の会
大崎市役所世界農業遺産推進課
自然環境活用センター



「サンオーレそではまの“サンオーレ”って？」

・平成11年の7月に人工海水浴場としてオープンしたサンオーレそではま海水浴場。名前に入っているサンオーレは、砂浜の全長が約300mであることから、3（サン）、0（オー）、0（レ）と名付けられました。



「スノーケリングって何をするの？」

・ウェットスーツ、マスク、スノーケル、フィン、ライフジャケットなどの器材を身に付けて、水面や浅い海を泳ぐマリンスポーツです。ダイビングより手軽で、老若男女問わず体験することができます。



「藻場には何がいたの？」

海藻：マコンブ、アラメ、アナアオサ、アマモ、タチアマモなど
動物：アミモンガラ、コチ、ボラ、クサフグ、ヒラメ、チョウチヨウウオ、キタムラサキウニ、ヤドカリ、イトマキヒトデ、ヒラムシなど



ウニ



アミモンガラ



マコンブ

タチアマモ(絶滅危惧種の海草)

【子ども達の様子】

・今回は、ラムサール条約湿地で交流のあるおおさき生きものクラブの子供たちと一緒に活動しました。今年度入った隊員やおおさき生きものクラブの子供たちは、今回初めてスノーケリングを体験する子達だったので、慣れないウェットスーツの脱着やスノーケルの扱い等で少々苦戦しているようでした。けれど、講師の先生方の教えに耳を傾けながら実践していくうちに、段々と慣れていく様子も見受けられました。器材一式を身につけ、消波ブロックまで泳ぎ、初めて見る藻場やそこに住んでいる生きものを見つける度、水面から顔を上げて歓声を上げる姿が実に楽しそうでした。



「アマモの種とくと、海藻おしぼづくりもしたよ！」

・午後からは、自然環境活用センターで、志津川湾にアマモを増やすお手伝いとして、アマモの苗を作るための種の仕分け作業と、志津川湾の海藻を使った海藻おしぼのしおりづくりをしました。みんな、一生懸命に種とりや海藻おしぼづくりに取り組んでいました。



【次回の活動予定】※都合により変更の可能性もあります

☆9月は、各自で環境DNAのサンプリングを行ってまいります。

※サンプリングに必要な物は、後日こちらからお送りいたします。

☆10月14日(土) 化石調査

